



企画展「ひろしま再発見2」 展示風景

## 目次

- 1 館長挨拶
- 2-3 企画展「ひろしま再発見2」
- 3 企画展「広島市郷土資料館の歩み」
- 4 夏休みイベント「おばけの夏休み」・イベント「郷土資料館建物案内」
- 5 活動報告
- 6 博物館実習・インターンシップ
- 6-7 新着収蔵資料
- 7 平成27年度後期展示紹介

## 館長挨拶

当館は、今年5月で開館から30年の節目を迎えました。今ではすっかり街並みに溶け込んだこのレンガ造りの建物ですが、もともとは104年前(明治44年)に旧宇品陸軍糧秣支廠の缶詰工場として建てられたものです。戦後、民間の食品会社の工場として利用された後に、昭和60年5月、明治時代のレンガ造りの建物の一部をリニューアルし、郷土広島歴史を伝える博物館として生まれ変わりました。今年夏には、開館後30年の歩みを紹介した企画展「広島市郷土資料館の歩み」を開催し、多く方にご来館いただきました。

また、被爆70周年・戦後70周年の今年、秋期特別展では「広島市民と戦争」を開催し、市民と戦争の関わりを紹介します。平和を願う多くの皆様にご来館いただきたいと思います。

当館では、これからも広島美しい景観となっているレンガ造りの建物を大切に保存するとともに、町の博物館としてみなさまの身近な存在でいられるよう様々なテーマに取り組んでいきたいと思いますので、ご支援ご協力をお願いします。

(館長 中田 幸治)

## 企画展

# 「ひろしま再発見2」

会期：2015年4月25日（土）～2015年6月21日（日）



展示風景

に貴重な出土品が豊富に出土しています。

古墳時代中期前半の出土品として、まず第一にあげるとすれば、短甲3領を始めとする数多くの武器・武具類でしょう。当時、畿内を除いてはまだあまり普及していなかった短甲が、広島湾沿岸という狭い地域に三領も出土することは稀有な現象と言えます。この現象は、短甲一領とともに出土した城ノ下第1号古墳出土金銅製装飾品にそのヒントがあります。すなわち、この金銅製品が国内に類似品が出土しておらず、朝鮮半島南部伽耶地域において直接入手した可能性が高いことから、地域の武人たちを率いて朝鮮半島南部に渡り活躍した人物の存在が予想されます。時期的に近い時期の他の2領の持ち主についても同様な性格の人物が想定でき、朝鮮半島に積極的に進出していた当時のヤマト政権において、この地域が一定の役割を担っていたことが窺われます。

次に、同じく古墳時代中期の出土品ですが、陶質土器及び初期須恵器が他の地域と比較して、集中的に出土する地域として特筆されます。特に、池の内第3号古墳出土の脚把手付短頸壺は国内で須恵器の生産が開始される以前の伽耶地方産の陶質土器であり、その分布を見れば、伽耶地域から対馬、筑紫、吉備、及び畿内各地から出土しており、大陸から都へのものの流れの中で、ひろしまも重要な位置を占めていたことを物語っています。

また、初期須恵器についても、ヤマト政権の公式の工房の製品だけでなく、松山平野の市場南組一号窯等初期段階で造られた各地の地方豪族の工房の製品が各種含まれており、その種類と量の豊富さは、瀬戸内海における活発な物資交流の様相を垣間見ることができます。

以上のような2種類の出土品の状況は、朝鮮半島との関係を前提とした瀬戸内海における活発な交流の存在を物語っており、ひろしまがその交流に深くかかわっており、かつある一定の役割を果たしていたことを物語っているのです。しかし、そのような輝きも、対外的な交流がヤマト王権によって一手に掌握され、地方豪族が官

(3ページにつづく)



企画展関連講座の様子

僚として国家機構に組み込まれていく古墳時代後期以降には失われ、特色ある出土品が少なくなっていくのです。

この後、日本は中国に倣って、天皇を中心とした中央集権国家の建設を目指すこととなります。このころ、著名な出土品は確認されていませんが、大陸と都を結ぶ最重要駅路山陽道がひろしまを通っており、大陸の進んだ文化や情報を携えた人々が数多く行き交ったことでしょう。実際に2か所の駅館跡や山陽道跡からは、都で使われた先進的な瓦や土器類等が見つっています。

何れにしろ、以上のような出土品の存在は、つねに大陸へとつながる人や物の流れの中で、ひろしまが常に一定の役割を果たし続けてきたことを物語っており、近代における中国大陸への派兵基地としての役割や、現代の自動車等輸出産業の隆盛が、偶然もたらされたものでなかったことを証拠立てているのです。

(若島 一則)

## 企画展

# 「広島市郷土資料館の歩み」

会期：2015年7月4日（土）～2015年8月30日（日）

広島市郷土資料館は、広島市域の地場産業やそれに関わる昔の暮らしを紹介する博物館として、昭和60年5月11日に開館、今年で30周年を迎えました。本企画展はこの節目となる年を記念して開催したもので、開設に至る経緯、開館時の様子、開館後の歩みをパネルで紹介しました。

展示では、まず当館の建物の前身である、明治44年（1911）竣工の旧宇品陸軍糧秣支廠缶詰工場の歴史を紹介し、戦後民間会社の工場として使用され、昭和52年から空き家となっていた建物が都市美化の観点から保存活用されることとなり、改築工事を経て博物館へと生まれ変わっていく経緯を紹介しました。続いて当時の荒木市長などが出席した開館時のオープニング・セレモニーを紹介し、さらに今日に至るまでの常設展示の変遷や、数多く実施してきた企画展、講演会・教室等の教育普及事業について紹介しました。



展示風景①



展示風景②

常設展示はあまり変化していないと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、定期的に展示替えを行い、近年ではより人々の暮らしに焦点を当てた展示に変化しています。また、見るだけでなく体験する展示も早くから導入し、何度もリニューアルしています。30年間で実に200回以上開催した企画展・特別展については、かつては常設展の延長線上に位置づけられるテーマが主流でしたが、近年では郷土広島の歴史文化、当館の建物と関係の深い軍隊や戦時中の暮らし、さらに小中学校における郷土学習に合わせたものなどと、より多様化しています。

今回の展示では30年間の歩みの全てを紹介することは出来ませんでした。職員としては新たな気持ちで当館を見つめなおす機会となりました。今後、次なる節目の年に向けて、市民の皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

(篠原 達也)

## 夏休みイベント

# 「おばけの夏休み」

会期：2015年7月18日（土）～2015年8月30日（日）

夏休みの郷土資料館といえば、すっかりおなじみのイベント「おばけの夏休み」。今年も、7月18日から8月30日に開催し、多くみなさまに楽しんでいただきました。

今年のテーマは、「江戸時代の妖怪」。五徳（囲炉裏などに据え、ヤカン等を置く道具）を頭にのせ、火をおこすことが出来る「五徳猫」をはじめ、ユニークな妖怪たちが登場しました。江戸時代は、日本の歴史の中でも、特に多くの妖怪や幽霊の怪異が語られ、描かれた時代だと言われています。妖怪を題材に

した小説や絵本が数多く出版され、「百物語」といわれる怪談会（闇夜にろうそくを100本ともし、車座になって怪談を語り合う会。一つ話をするごとにろうそくを1本ずつ消し、怪談が100話が終わる時には、怪異が起こるとされた）なども流行しました。そうした中で、妖怪を系統だって紹介した妖怪画集も出版されました。その中でも代表的な作品が、鳥山石燕（とりやま せきえん）という絵師が描いた画集でした。これらは、「百鬼夜行」シリーズといわれ、『画図百鬼夜行』『今昔画図族百鬼』『今昔百鬼拾遺』『百器徒然袋』が出版されています。中でも『百器徒然袋』には鳥山石燕が創作したとされる妖怪も多く、モノが百年を経て魂を宿した妖怪、付喪神（つくもがみ）が描かれています。

今回は、これらの画集の中の妖怪を中心に、パネルや立体模型を展示しました。併せて、1階の常設展示室には、付喪神の元になった道具の実物資料も展示し、昔の道具についても身近に感じていただけたのではないかと思います。また、土日のスペシャルタイムには、今年もボランティアのみなさまや学芸員実習・インターンシップの学生さんたちの協力により、動くおばけも登場し、今年も盛況のイベントとなりました。

来年度もより一層、楽しく学んでいただけるイベントにできたらと思いますので、楽しみにしててくださいね。

（正連山 恵）



五徳猫



展示の様子

## イベント「郷土資料館被爆建物案内」

実施日：2015年8月6日

8月6日の原爆記念日に、広島市の平和関連事業の一環として、被爆建物である当館の建物（旧宇品陸軍糧秣支廠缶詰工場）についての解説を行いました。

当館のエントランスから屋根を見上げると、原爆の爆風によって折れ曲がった鉄骨見ることができ、ここで解説を行ったほか、戦中戦後の食糧難の中で食べられた江波団子や一銭洋食の試食、宇品港から出港する兵士や見送る人々の姿をとらえた貴重な映像を放映しました。

当日は、ボランティア・スタッフ（広島歴史探検隊）や博物館実習生の応援を得て、たくさんの来館者で賑わいましたが、今年は被爆70周年ということもあり、来館者の関心がいつも以上に高かったように思えました。



被爆建物案内の様子

（篠原 達也）

# 活動報告

2015年4月～2015年9月

## 教室事業

- 4月19日(日) 和菓子作り(親子教室)
- 4月25日(土) かしわもち作り
- 5月30日(土) 折り染めのうちわ作り
- 6月6日(土) 藍でハンカチ染め
- 6月19日(金) 藍染めTシャツ作り(大人向け教室)
- 6月27日(土) 藍染めTシャツ作り
- 7月4日(土) 七夕飾り作り
- 7月12日(日) 漆喰ボール作り
- 8月28日(金) 大人の染色体験(大人向け教室)
- 9月12日(土) 手すきはがき作り
- 9月19日(土) ごんぎつねに親しもう(親子教室)  
(工作とおはぎ作り)
- 9月26日(土) 月見団子作り

## イベント

- 9月26日(土) 郷土資料館被爆建物案内

## その他の事業・館外活動

- 5月3日(日)～5(火) フラワーフェスティバル会場で工作指導「かんたんからくりコイノボリ」
- 5月21日(木) 祇園公民館で講演「ひろしま再発見 みちは大陸へ」
- 5月21日(木) あさみなみ区民大学で講演「八木用水物語」
- 5月31日(日) 広島城メモリアルデーで工作指導「かんたんからくりコイノボリ」
- 6月6日(土) 福田公民館で工作指導「ホタルかご作り」
- 6月7日(日) 路面電車まつりで工作指導「上る路面電車工作」
- 6月13日(土) 五日市公民館で講演「絵葉書の中の広島」
- 7月18日(土) 城下町広島の歴史講座十講で講演「古文書と発掘調査から探る築城期の広島」
- 8月1日(土) 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館で講演「広島歴史と小路」
- 9月30日(水) 三篠公民館で講演「西国街道は、いつ広島城下を通るようになったのか？」

## 夏休みカンタン工作日程一覧

- 7月23日(木)・24日(金) 「とびだすオバケ」
- 7月28日(火)・29日(水) 「でんでん太鼓」
- 7月30日(木)・31日(金) 「オバケのしおり」
- 8月11日(火)・12日(水) 「かさぶくろろくろ首」
- 8月13日(木)・14日(金) 「ゆらゆら化け猫」
- 8月18日(火)・19日(水) 「パタパタこうもり」
- 8月20日(木)・21日(金) 「ぐにゃぐにゃ凧」



カンタン工作「とびだすオバケ」



フラワーフェスティバル会場にて  
「かんたんからくりコイノボリ」



教室事業 6月6日  
「藍でハンカチ染め」

# 博物館実習・インターンシップ

## 博物館実習

当館では学芸員養成課程を履修している大学生の見学実習、館務実習を受け入れており、本年度は、見学実習では2校32名の、館務実習では4校5名の参加がありました。

見学実習は講義と施設見学からなり、普段は立ち入ることが出来ないバックヤードを見学していただいています。一方、館務実習では、資料の取扱や展示についての実践的な実習を実施しているほか、教育普及事業(被爆建物案内)では実際にガイド役を務めていただきました。

(篠原 達也)

## インターンシップ

郷土資料館では毎年夏休み期間中にインターンシップの受け入れをおこなっています。今年は3大学から5名の実習生を迎えました。こどもさんが多く来館されている賑やかな館内で、悪戦苦闘しながら教室事業の補助や受付など、主に接客業務に従事していただきました。

(本田 美和子)

博物館実習の様子

## 見学実習

5月13日(水) 広島市立大学 26名

6月11日(木) 県立広島大学 6名

## 館務実習

7月31日(水)～8月7日(金) 実働7日間

## インターンシップ

8月11日(火)～8月15日(土)

県立広島大学 1名

8月15日(土)～8月20日(木)

安田女子大学 2名

8月18日(火)～8月22日(土)

比治山大学 2名



# 新着収蔵資料

2015年5月から2015年9月までにご寄贈いただいた資料です。みなさまありがとうございました。

資料番号	資料名	数量	寄贈者	受入年月日	備考
2015-1001	ランプ	1	加藤良隆氏	2015.5.9	ガラス製
2015-1002	大便器	1	上馬場是美氏	2015.5.19	陶器製。染付
2015-1003	小便器	1	上馬場是美氏	2015.5.19	陶器製。染付
2015-1004 } 2015-1157	軍用行李 ほか 154 件	214		2015.6.21	日中戦争で戦死した士官の遺品等
2015-1158	広島陸軍糧秣支廠腕章	2	岡本博元氏	2015.7.8	未使用
2015-1159	貴重品袋	1	丸本良一氏	2015.9.7	
2015-1160	軍隊手帳	1	丸本良一氏	2015.9.7	
2015-1161	靖国神社祭神遺族鉄道乗車証	1	丸本良一氏	2015.9.7	昭和16年。東京市内一広島間、三等
2015-1162	桜記章	2	丸本良一氏	2015.9.7	靖国神社臨時大祭遺族徽章
2015-1163	支那事变従軍記章	1	丸本良一氏	2015.9.7	

(7ページにつづく)



2015-1159 貴重品袋



2015-1162 桜記章

平成 27 年度  
後 期  
展 示 紹 介

企画展『ごんぎつね』が語る昔の暮らし

2015年9月5日(土)～2015年12月6日(日)

新美南吉の童話「ごんぎつね」のストーリーを交えながら、童話に登場する昔の道具や人々の暮らしを紹介します。

特別展 広島市民と戦争

2015年10月17日(土)～2016年1月11日(月・祝)

一広島市民の出征から戦死・葬儀に至る一連の資料を通して市民と戦争の関わりを紹介します。

企画展 広島麻づくり

2016年1月23日(土)～2016年4月10日(日)

かつて広島の地場産業の一つだった麻づくりの歴史・技術・道具について紹介します。

ひろしま郷土資料館だより No.90 2015年10月31日発行  
編集・発行 公益財団法人広島市文化財団 広島市郷土資料館  
〒734-0015 広島県広島市南区宇品御幸二丁目6-20  
TEL:(082)253-6771 FAX:(082)253-6772  
URL: <http://www.cf.city.hiroshima.jp/kyodo/>